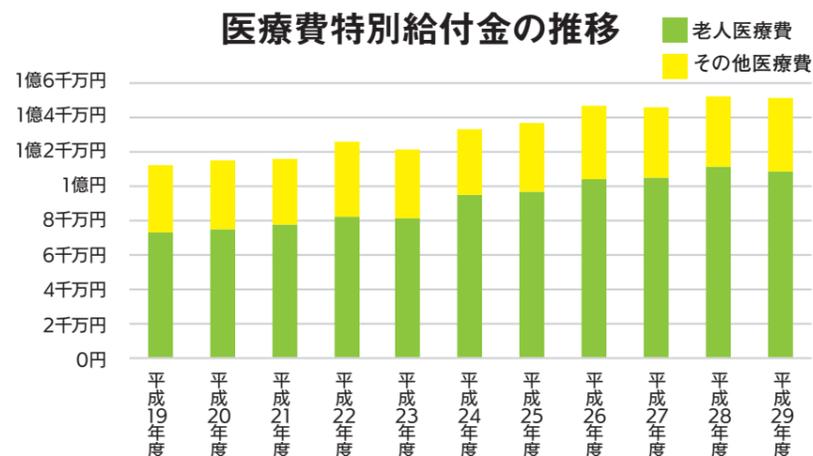


# 老人医療費特別給付金

平成28年度より財政負担を減らし、給付額の縮減を図るために対象年齢を70歳とし、現在は経過措置として2年ごとに1歳引上げ、平成30年度は67歳となりました。

しかしながら平成26年度より1億円を超えた給付金は、平成30年度も引き続き1億円を超える見込みです。



## 縮減が進まない理由として...

- 70歳から74歳までの前期高齢者の窓口負担額が1割から2割に引き上げられた。
- 老人の給付対象資格者数が横ばいのままである。
- 老人一人当たりの医療費が増加。
- 高額療養費の改定により自己負担額が増額された。

などが挙げられます。

減らない老人医療費特別給付金の縮減のため、原村医療費特別給付金制度あり方検討委員会答申による条例改正案を12月議会に上程しましたが、抜本的改革が必要ではないのかとの理由により賛成少数にて否決されました。

## 今回の条例改正案は、

- 県外医療機関分は対象外とする。
- 申請書の提出期限を1年から6か月に変更する。
- 診療同一月の申請回数を1回とする。
- 村外からの住所地特例者は対象外とする。
- 2年の居住要件を設ける。

などとするものでした。

今後どのようにしたらこの制度が存続していけるか、住民の皆さんのご意見をお聞きする住民懇談会を開催します。

**大勢のみなさんのご参加をお待ちしております。**

問 保健福祉課 医療給付係 ☎79-7925 (直通)

みんなで考えよう

# 原村医療費特別給付金制度

～住民懇談会開催のお知らせ～

**日付** 2月20日(水)・22日(金) ※両日同じ内容です。  
**場所** 役場3階 講堂  
**時間** 午後7時～

## 経過

医療費特別給付金制度は昭和46年度に高齢の方々等の福祉の増進を図るため始まり、現在は、子ども、障がい者、ひとり親や世帯主への給付も行うようになり、平成29年度の給付総額は約1億5千万円となりました。その中で老人医療費特別給付金は1億800万円と突出しているのが現状です。

## 財政

財源の不足により、平成27年度から平成29年度の3年間で基金を4億円取崩し、一般会計へ繰り入れをしました。特に保健福祉関係では平成30年度予算で諏訪中央病院組合の負担金が5,942万円、介護保険負担金は1億1,080万円など毎年負担金が増加しています。

国からの地方交付税は平成29年度で前年度比5,482万円の減額でした。

繰越金や繰入金を算入しない実質単年度収支は平成26年度から歳入不足となり、平成29年度は1億3,482万円の赤字で村の財政は厳しい状況が続いています。

## 平成29年度 医療費特別給付金給付内訳



**総額 1億5,000万円**

# 平成最後の 成人式

平成最後の成人を迎えたのは平成10年度(1998年度)生まれのみなさんです。

平成10年度を振り返る

平成10年度の主な出来事

- ・大相撲で貴乃花と若乃花の史上初の兄弟横綱が誕生する
- ・小淵恵三が第84代内閣総理大臣に任命される
- ・日本初の火星探査機「のぞみ」が打ち上げに成功する
- ・Windows98、iMacが発売される

日本漢字能力検定協会発表の一年間を表す漢字は「毒」和歌山毒物カレー事件の影響による毒物混入事件が多発したことから

1月3日(木)中央公民館で、平成最後の成人式が開催され、88人(男52人、女36人)が成人を迎えました。スーツや晴れ着を身に付けた新成人は笑顔で会場を訪れ、友人との再会を喜びました。式典は厳かに行われ、成人としての門出を祝いました。式典終了後に行われた祝賀会では、友人と昔話に花を咲かせたり、ビンゴ等のゲームを楽しみました。

## 新成人代表挨拶

大人になること、成人になることを私たちは果てしない未来だとばかり思っていた。しかし、それぞれの道を歩む中で私たちは、未来はいっかではないことを知り、大人へと近づいてきた。大人の理想像は人によって幾多もあるが、すべてに共通し、尚且つ

大切にしていかねばならない事を述べたい。それは責任と感謝である。私たちは制限の中で責任を負うことから守られて来た。自由には責任が伴うからだ。成人の日を迎え私たちは、自らの行動に責任を全て背負わなければならない。そして、社会の一員としての責任も果たさなければならぬ。また、私たちは一人で生きてきたわけではなく、両親はもちろん、先生、地域社会に支えられて今日を迎えることができた。私たちは、社会から受けてきた恩恵に報い、還元することが求められる。平成の時代は幾多の災害に見舞われ、助け合うことの大切さ、思いやりの温かさを身に染みて実感する機会が多々あった。この教訓を心に刻んで社会に関わっていくことが



新成人代表

社会の一員としての責任を果たす事の一步だと思ふ。そして、私たちが先頭に立って実践していくことが、社会への貢献であり、成人としての使命を果たすことに繋がる。私たちの十代は終わり、大人の仲間入りをした。これまでの何もかもを大切にし、感謝をすることで、私たちは更に成長していける。感謝の気持ちと原村で育った誇り、成人としての決意を胸に刻み、これからの人生を歩んでいくことを誓い、新成人の挨拶とする。



新成人代表  
清水 望由 さん

※成人代表挨拶は一部省略しています。



①祝賀会の乾杯を待つ②恩師との記念撮影③友人との記念撮影④祝賀会の乾杯の音頭⑤取材を受ける成人⑥友人との記念撮影⑦集合写真撮影⑧式典の様子⑨記念品を受け取る成人⑩万歳三唱

## 成人の 抱負



# 平成の成人式 を振り返る



平成27年



平成22年



平成16年



平成12年 男性



平成28年



平成23年



平成17年



平成12年 女性



平成29年



平成24年



平成18年



平成13年 男性



平成30年



平成25年



平成19年



平成13年 女性



平成31年



平成26年



平成20年



平成14年



平成21年



平成15年



平成11年 女性



平成9年 女性



平成9年 女性



平成7年 男性



平成4年 女性



平成2年 男性



平成10年 男性



平成7年 女性



平成5年 男性



平成2年 女性



平成10年 女性



平成8年 男性



平成5年 女性



平成3年 男性



平成11年 男性



平成8年 女性



平成6年 男性



平成3年 女性



平成11年 女性



平成9年 男性



平成6年 女性



平成4年 男性

